

2021年の天文現象など

2021年の天文現象などを楽しむ

あけましておめでとうございます。本年も1年間星空の魅力についてお届けしますので、よろしくお願ひします。

今月は、今年1年の天文現象などの情報をお送りします。

これを参考にしてぜひ、観察して星に親しみを覚えていただきたいと思います。今年前半には、天文現象があまりありませんが、5月以降はいろんな天文現象を見ることができます。また、七夕（たなばた）や中秋の名月などのお祝い事もあります

1月4日 しぶんぎ座流星群

3大流星群（しぶんぎ座流星群、ペルセウス座流星群、ふたご座流星群）のひとつです。今年は極大日が1月3日の23時頃と予測されていますので、1月4日午前0時から夜明けまでが観測の好機です。なお、下弦を迎える前の月明かりがありますので、1時間あたり見られる流星数は、20～30個程度と予想されます。

5月26日 皆既月食

今年皆既月食はこの一度しか見られませんが、お見逃しなく。

なお、11月19日には部分日食を見ることができます。



皆既月食の時に見られる赤い満月

5月26日 スーパームーン

一年で一番大きく見える満月のことをスーパームーンと呼ぶことが多く、今年5月26日の満月がこれに相当します。

ちょうど皆既月食になりますが、ゆっくり観察してみましょう。

なお、逆に1年で一番小さく見える満月をミニマムムーンと呼ぶことがありますが、今年12月19日の満月がこれに相当します。

5月29日 水星、金星の接近

5月29日午後7時頃、西北西の高度10度付近に見られる水星、金星の最接近を目撃しましょう。金星の明るさに対して水星はやや暗く見えます。低空ですが、さがしてみましょ。



以前に見られた水星と金星の様子を撮影したものです

6月23～24日 火星がプレセペ星団に侵入

梅雨時ですが、もし、晴れたら注目すべき現象です。比較的大きく見えるかに座のプレセペ星団の中に火星が侵入します。

夕空の西の低空に見られる現象ですからちょっと見づらいかもしれませんが、双眼鏡などを使って観察してみましょ。

7月7日 七夕（たなばた）を祝う

7月7日は七夕祭りの日です。笹に願い事を書いた短冊をかざり、お祝いしますが、伝統的に昔からお祝いしてきた七夕は伝統的七夕は、今年は8月14日です。この日も忘れずにぜひ、お祝いしましょ。



七夕飾り

7月13日 火星と金星の接近

7月13日午後7時頃西の空、高度18度付近に火星、金星の最接近が見られます。天体望遠鏡などの装置は一切必要ありません。肉眼で見ることができますので、ぜひ見ましょう。

8月13日 ペルセウス座流星群の極大

今年のペルセウス座流星群は、8月13日午前4時ごろをピークとして見られます。月明かりの影響も少なく、好条件ですから13日の午前1時頃早起きして夜明けまで観察できるといいですね。



流れ星の写真。音もなく、スーと流れる神秘的な現象です

8月～10月 土星が見ごろ

8月2日に衝を迎える土星は夏休みの8月から10月いっぱいが見ごろとなります。

9月～11月木星が見ごろ

8月20日に衝を迎える木星は、これ以降11月上旬まで見ごろとなります。

9月21日 中秋の名月

今年は9月21日が中秋の名月です。お団子やススキをお供えして名月を鑑賞しましょう。また、10月18日は後の月（十三夜）と呼ばれ、古くから日本ではこの月の日もお祝いをする習慣があります。

10月30日前後に明るく輝く金星

金星は10月30日に東方最大離角を迎え、西の夕空に明るく輝く宵の明星と呼ばれ、しばらくの間は一番星として明るく輝いています。

11月9日 月、金星、木星、土星が並んで見られる

11月9日の夕空に月、金星、木星、土星が並んで見られます。月が晴れた夕空の中のこの現象を眺め、写真撮影にもチャレンジしてみましょう。

このほか、12月7日～9日頃の夕空の西南西の空にも同様に月、金星、木星、土星が集合した様子を見ることができます。



11月9日の月と惑星の様子を模式図にしてみました

12月14日 ふたご座流星群

毎年、12月14日頃には流れ星が多く見られます。今年は上弦を過ぎた明るい月があり、観察の障害になりますが、それでも明るい流れ星は十分見ることができますので、ぜひ観察してみましょう。

1月の星座観察

1月の空は、冬の星座で埋め尽くされています。

冬の星座の中には明るい1等星以上の恒星が7個見られ、他の季節の星空よりもぎやかに見られます。

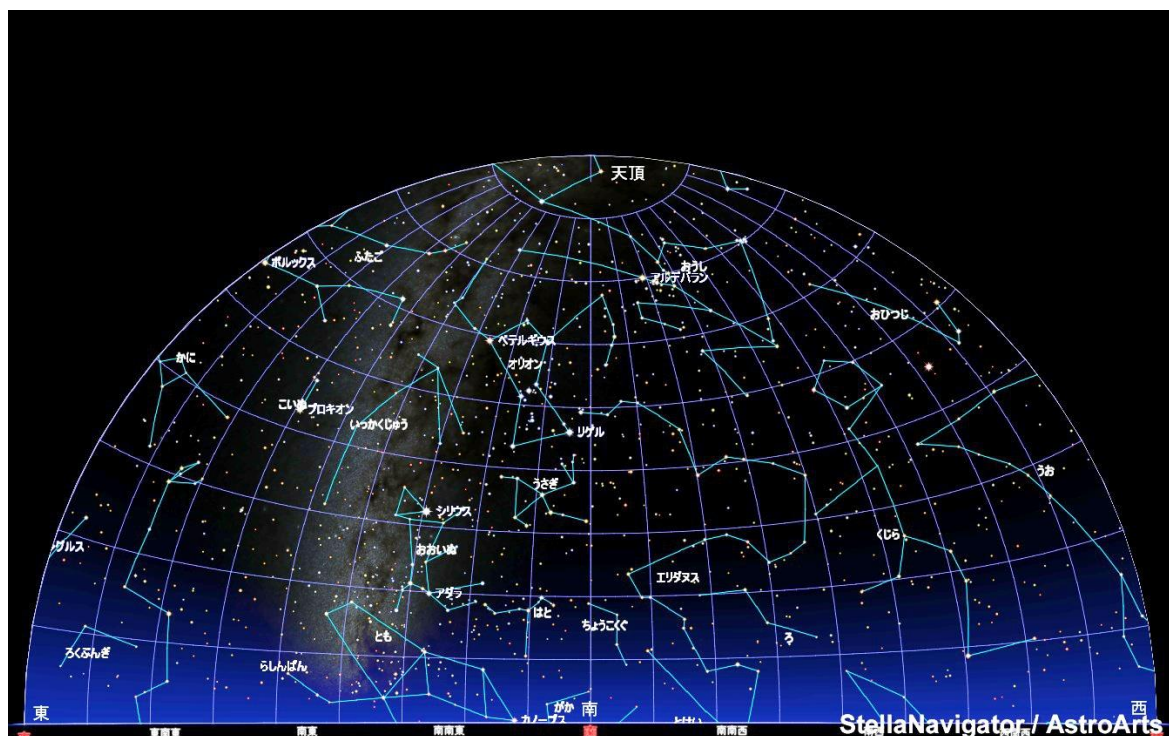
天頂高く輝くぎょしゃ座のカペラから時計回りに1等星を探して、おうし座のアルデバラン、オリオン座のリゲル、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオン、ふたご座のポルクスそして再びカペラに戻ると大きな六角形ができますが、これを冬のダイヤモンドと呼んでいます。また、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオン、オリオン座のベテルギウスの3星で形づくる三角形を冬の大三角と呼んでいます。凍てつく冬の夜空ですが、十分に防寒対策をして星座観察を楽しみましょう。

1月の天文情報 (月齢は正午の値)

日	曜日	月齢	天文現象など
1	金	17.4	元日
2	土	18.4	
3	日	19.4	しぶんぎ座流星群極大(23時)
4	月	20.4	
5	火	21.4	小寒(二十四節気)
6	水	22.4	下弦の月
7	木	23.4	
8	金	24.4	

9	土	25.4	
10	日	26.4	水星と土星が最接近 月の距離が最近
11	月	27.4	成人の日
12	火	28.4	月と金星が最接近 水星と木星が最接近 月の赤緯が最南
13	水	29.4	新月
14	木	0.9	月が水星、木星、土星に最接近
15	金	1.9	
16	土	2.9	
17	日	3.9	
18	月	4.9	
19	火	5.9	月が天の赤道を通過、北半球へ
20	水	6.9	大寒(二十四節気)
21	木	7.9	上弦の月 月の距離が最遠 月と火星が接近
22	金	8.9	火星が東矩
23	土	9.9	
24	日	10.9	水星が東方最大離角
25	月	11.9	
26	火	12.9	
27	水	13.9	月の赤緯が最北
28	木	14.9	
29	金	15.9	満月
30	土	16.9	
31	日	17.9	

1月の星図



1月の中旬、午後9時ごろの星空です。この情報の中で使用する星図は、(株)アストロアーツの許諾を受け、天文ソフト「ステラナビゲータ11」を使用しています。